

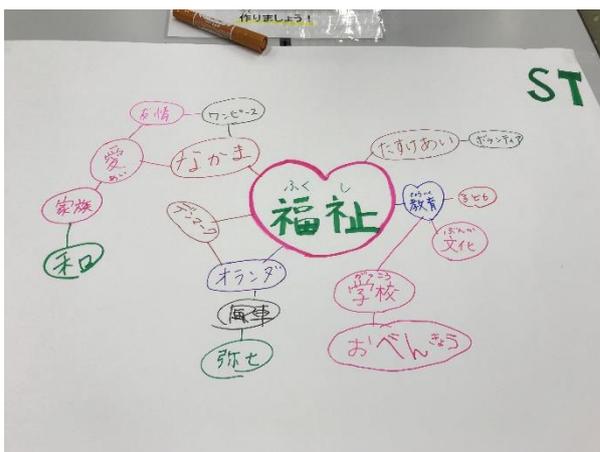
## 第9回 2018 ふく see ぬまづ福祉まつり

10月8日、キラメッセぬまづにて『第9回 2018 ふく see ぬまづ福祉まつり』が開催され、静岡県言語聴覚士会として参加させていただきました。

PT・OT・STの三士会が参加し、PT士会は2回目、OT士会は3回目の参加とのことで、横並びのブース配置で合同企画も行いました。

静岡県言語聴覚士会として、このような地域のイベントへの参加は初めての試みであったため、『どのような趣旨なのか』、『何を求められているのか』、『どのような手順を踏めば良いのか』…などなど、文字通り手探りの状態からのスタートとなりました。2度に渡る（ブース出展者への）説明会の場でも、今回STが参加したことで三士会がそろうため、「長年の夢がかないました。」と実行委員長より全体への説明があり、かなり期待されていることがわかりました。

今回、企画・実施した内容としては、①STの紹介と職務内容の説明、②静岡県の東部地域でSTがいる施設の掲示、③体験ブース、④パンフレット配布（全国協会が作成したものと、新生児聴覚スクリーニング）、⑤三士会合同企画となりました。



体験ブースでは『前頭葉機能チェック』と題し、STが行う前頭葉機能の検査をアレンジしたものを、来場者に疑似体験していただきました。成人の方には Stroop 課題もどきを用意し、お子さんには RAN 課題もどきを用意し、それぞれ測定した時間をグラフにプロットして楽しんでいただきました。また、もう一つの体験ブ

ースとして『意味ネットワークづくり』を用意しました。一つの単語から連想されることばを次々につなげていくもので、「りんご」や「テレビ」といった身近なものから、「福祉」のようにイベントにまつわることばも取り上げました。どちらの体験も、はじめは遠慮する方が多く見受けられましたが、お子さんと一緒に取り組んでくださるご家族や、ご夫婦で談笑しながら参加された方もいました。

合同企画では『リハビリ職コスプレ体験』と『リハビリ写真展』を実施しま



した。写真展は PT・OT 士会が昨年合同で企画したものなので、ご快諾いただいた患者様の実際のリハビリの場면을写真に収め、ご本人のコメントやリハビリ内容の説明などを展示しました。当日はご家族と一緒に写真展を見に来てくださる方が多く、嬉しそうにご自身の写真を眺めて、ご家族と談笑される姿が印象的でした。

